

島根原子力発電所 安全対策等の実施状況をお知らせします【平成24年7月】

免震重要棟（仮称）の設置

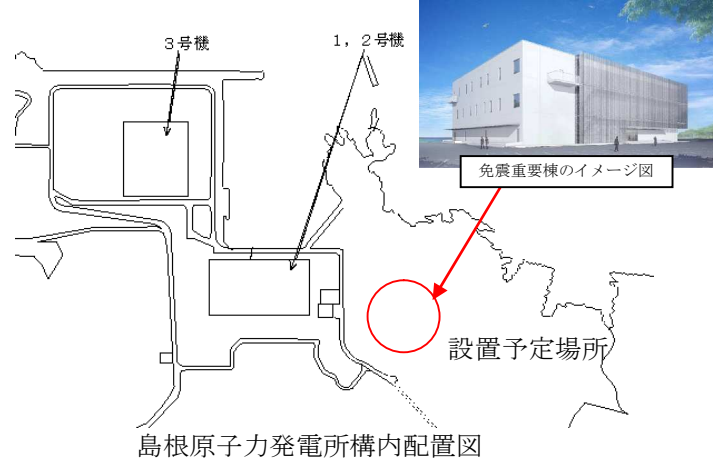
大規模地震等によって原子力発電所の事故が発生した場合の対応に、より万全を期すため、緊急時対策所機能を収容する免震構造の建物（仮称：免震重要棟）を発電所構内の高台に設置することとします。

〔平成26年度内完了予定〕

■ 平成24年5月、「免震重要棟（仮称）」の敷地造成工事に着手しました。

☑ 免震重要棟の主要設備

- ・ 専用電源設備
- ・ 専用電源用燃料タンク、飲料水タンク
- ・ 放射性物質を低減する空調設備
- ・ 除染室等の放射線管理設備
- ・ 対策要員の収容スペース
- ・ 要員の長期滞在を考慮した休憩室・仮眠室



防波壁の強化（3号機エリアの防波壁工事は終了）

更なる信頼性向上対策として、発電所構内全域を海拔15mの防波壁で囲むこととしています。

〔平成25年内完了予定〕

■ 1, 2号機防波壁エリアでは、防波壁設置のための鋼管杭の建込み工事を行なっています。



鋼管杭建込み工事の状況



1, 2号機エリア（工事中）

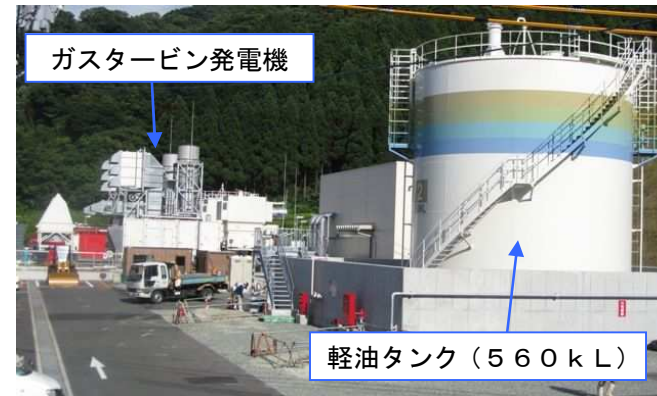


3号機エリア（工事終了）

高台（海拔約40m）への緊急用発電機の追加設置

非常用ディーゼル発電機のバックアップとして、ガスタービン発電機（1万2千kW級×2台）を発電所施設内の高台に設置します。

〔1・2・3号機 共用 完了〕



ガスタービン発電機軽油タンク（560kL）

- ガスタービン発電機用の軽油タンク（300kL）を設置しておりましたが、平成24年6月、追加の軽油タンク（560kL）の据付工事が終了しました。7月から軽油タンク（560kL）に付属するポンプ等の試運転を行なっていきます。
- 軽油タンク2基の運用開始により2台のガスタービン発電機を約1週間、連続運転することが可能となります。

電気設備（変圧器）への防水壁設置

屋外の電気設備（変圧器）の浸水防止対策として、変圧器設置エリアに海拔15mの防水壁を設置します。

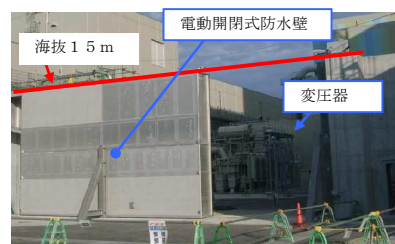
〔2号機 完了, 3号機 完了〕

（1号機は海拔15m以下に外部電源の受電に必要な変圧器がないことから対策不要）



2号機変圧器エリアの防水壁

■ 平成24年6月、2号機変圧器エリアの防水壁設置工事が完了しました。



3号機変圧器エリアの防水壁

建物の浸水防止対策

建物内の安全上重要な設備を浸水から保護するため、防水性を高めた扉への取替え等を実施します。

〔1, 2, 3号機 完了〕

■ 平成24年5月、2号機建物について、海拔15mまでの浸水を想定し、防水性を高めた扉への取替え工事等が完了しました。



2号機建物内に設置した水密扉

輪谷貯水槽耐震補強工事

大規模地震等によって通常の冷却手段を失った場合における原子炉等への注水に必要な水源を確保するため、耐震補強工事を実施します。

〔1・2・3号機 共用 完了〕

■ 平成24年6月、貯水槽の耐震補強をするとともに、内面に防水性のシートを敷設しました。



輪谷貯水槽（耐震補強工事後）



輪谷貯水槽（耐震補強工事後の水張）

輪谷貯水槽耐震補強工事の状況

《今後の予定》

引き続き、免震重要棟（仮称）の敷地造成工事、防波壁の強化工事等を進めてまいります。